

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 METTS Commons

教職課程センター・地域学校教育センター リニューアル



教職課程センター・地域学校教育センターとして学生が利用していたスペースが、2018年4月よりMETTS Commonsとしてリニューアルオープンしました。

METTSとはMEikai Teacher Training Supportの頭文字をとった愛称で、学生たちがここに集い自由に意見を交わし研究を進める場所という意味のCommonsと合わせてMETTS Commonsと命名されました。ブルーのカーペットは大海原を、個別面談ブースの白いスクリーンはヨットの帆をイメージしたデザイン

で、オープニングセレモニーでは宮田淳理事長が「明海丸」と例えられました。周囲は明るいガラス張りで、学生の様々な活動や学習に使える設備を整えています。例えば室内の白い壁は、プロジェクターからの投影画面を直接タッチして文字等を書き込むことができるスマートボードとしても利用できます。3・4年生の模擬授業発表等での活用が期待されます。またセンター教職員が執務するFACULTY OFFICEもガラス張りで、学生との距離が近いことが特徴です。

4月3日には入学式を終えた新入生と保護者の方々に施設を紹介し、4月5日には東京都教育委員会、足立区教育委員会及び都立高校関係者をお招きし、宮田淳理事長、安井利一学長ら大学関係者が参列してオープニングセレモニーを行いました。その後の施設見学の時間には、教職を履修している学生たちが各設備を紹介しました。

今後、多くの学生が自学自習の場として、あるいは教員との面談の場として活用していくことが期待されます。



学生の感想

以前のセンターよりも広くなったので、心地よく勉強できます。デジタル教科書の活用やモデル授業DVDの鑑賞ができるようになり、学習方法の幅が広がりました。また他学年、他学科との交流の場ともなり、METTSに来ることが楽しみのひとつになりました。

(英米語学科4年 富塚虎太)

リニューアル後は資料等が良く見えることや先生方にも話しかけやすくなり、利用しやすくなりました。

(日本語学科3年 佐藤里奈)



2018年度がスタートしました

1年生教職ガイダンス

外国語学部1年生を対象とした教職課程履修に関するガイダンスが4月4日(水)に行われました。学事課からの説明に加えて国語科・英語科それぞれの教職基礎セミナー担当者から講義内容の説明がありました。次期学習指導要領のもとで授業を行う教員を育成したいという担当者の熱意が伝わりました。



4年生はMETTSをフル活用

教員採用試験に向けて本格始動した4年生は、空き時間のほとんどをMETTS Commonsで過ごすようになりました。そんな4年生に引き付けられるように下級生も集まるようになり、学年や学科を超えた交流が生まれています。ガラス張りのFaculty Officeも功を奏し学生が気軽に質問に訪れています。

写真のようにDVDで授業研究する姿やグループで活動する姿が見られるようになり、ガラス越しに彼らを眺める教員は大きな喜びを感じています。



教職課程センター・地域学校教育センター 新任教員紹介



今年度から教職課程センター・地域学校教育センター(METTS Commons)でお世話になります石鍋浩です。3月までの公立中学校での経験を生かし、教

員を目指す学生の皆さんが即戦力となれるように、実践に直結する指導・助言を心がけます。また、足立区をはじめとする地域連携等においては、大学の教育資源を学校現場や地域で活用してもらうべく、具体的な情報提供や支援をさせていただきます。

よろしくお願いいたします。



皆さん、こんにちは。今年度4月から明海大学教職課程センターでお世話になる木内和夫です。3月末までは、千葉県の県立高校の校長を

していました。開かれた校長室を理想としていましたので、毎日たくさんの生徒が校長室に出入りしていました。根っから生徒・学生とコミュニケーションをとることが大好きです。遠慮せずにMETTS Commonsに顔を出してください。趣味はB級グルメ、読書、旅行、観葉植物を育てることです。